

1 福井県におけるネットワーク

[1] 福井県災害ボランティアセンター連絡会

平成9年に起きたロシアタンカー油流出事故災害では、県外から支援に駆け付けていただいた様々な団体から、災害ボランティアセンターの立ち上げや運営ノウハウの提供を受け、地元の社会福祉協議会や青年会議所などが中心となってボランティアセンターを運営しました。当時福井県内には、災害ボランティア活動に対応できる人材がいなかったからです。

その後、福井県では、実際に災害ボランティア活動に携わった方々に協力をいただき災害ボランティア活動を総合的かつ効果的に実施するため検討会を開催しました。再び福井県内でこのような災害が発生した場合、県内の人材でボランティアセンターが運営できるよう、人材の育成と、県内の民間団体で構成するネットワークの形成が必要との意見を受け、平成11年に「福井県災害ボランティアセンター連絡会（P65）」が誕生しました。

平成16年に発生した福井豪雨災害では、この福井県災害ボランティアセンター連絡会が本部ボランティアセンターを開設し、各現地ボランティアセンターの支援やコーディネートを行い被災地の迅速な復旧に大きな貢献をしました。



ロシアタンカー油流出事故災害のときの
ボランティアセンター



ロシアタンカー油流出事故災害現場の
ボランティア活動

図18

